

拝啓

秋晴の候、みなさま方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、先日はご多忙の中、見学の機会をいただき誠にありがとうございました。

職員の皆様、利用者の皆様には温かく迎えていただきまして、大学の座学だけでは得られない学びを経験させていただきました。

今回初めて農福連携を実践している事業所を見学させていただき、それぞれに新たな気づきや学びを得ることができました。貴事業所は、他の事業所と比較して利用者の方がたくさんいらっしゃる中それぞれに合った仕事を見極め、さらに天気によって左右される農業において、毎日の予定を組んでいくことを想像すると、職員の方々はたくさんの苦労や努力をして事業所と利用者の方々を支えていらっしゃるのだろうと感じました。また、立ち上げ当初からの努力も含めて、その行動力や事業所の地域への根付きにとっても驚かされました。そして、就労支援事業所としてただ障害者の日中活動の場になるだけではなく、農業を通して地域とそこに住む人々の『食』という暮らしに貢献している点にとっても感銘を受けました。障害者が「支援を受けるだけでなく、地域の健常者を支える」存在になるということを実現されている事業所で、お話を聞き、実際に活動の様子を見られたことは本当に貴重な経験となりました。利用者の皆様が、いきいきと仕事をする姿や、楽しそうに作ったものを私たちに見せてくれたときの笑顔が印象的で、利用者の方が仕事を通して誇りや自信、生きがいを持って生活しているのだと、とても伝わってきました。このような地域に根付いた障害者の居場所が特別ではなく当たり前の形になっていくために、私たちも農福連携をはじめ、障害者が生きがいや自信をもって社会参画できる取り組みについて積極的に学び、考えていきたいと思えます。

見学の際には、ナスを使ったランチをはじめ、新鮮な野菜をたくさんいただいて、お土産まで本当にありがとうございました。家に帰って家族と一緒においしくいただきました。購入させていただいた京田辺なすも鳴焼にいただいたのですが、家族にも非常に好評でした。今度お邪魔するときは、また違う季節に、その季節の名産に出会えたらと楽しみにしております。

最後になりますが、このたびは貴重な見学の機会を頂きまして誠にありがとうございました。今後も「さんさん山城だからできること」を通じて、農福連携を発信していくと共に美味しい作物をたくさんの人に届けてください。陰ながら、皆さまのご発展とご多幸をお祈りしております。

敬具

令和1年9月13日

筑波大学人間系 大村美保

筑波大学人間学群障害科学類

〒305-8505 茨城県つくば市大塚 1-1-1 筑波大学人間学群障害科学類